

岡山県備前市 循環型社会形成推進地域計画

備前市

策定 平成21年 1月30日

変更 平成23年 1月14日

変更 平成24年12月18日

変更 平成25年 1月8日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 対象地域	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2) 計画期間	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(3) 基本的な方向	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(4) 広域化の検討状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(1) 一般廃棄物等の処理の現状	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(2) 生活排水の処理の現状	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(3) 一般廃棄物の処理の目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(4) 生活排水の処理の目標	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3. 施策の内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(1) 発生抑制、再使用の推進	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(2) 処理体制	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(3) 処理施設の整備	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
(4) その他の施策	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
4. 計画のフォローアップと事後評価	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(1) 計画のフォローアップ	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(2) 事後評価及び計画の見直し	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
様式3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
参考資料様式1 施設概要 (ストックヤード)	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
参考資料様式5 施設概要 (浄化槽系)	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
添付資料1 現状及び将来の種類別排出量	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
添付資料2 現有施設の表および位置図	・・・・・・・・・・・・・・・・	25

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 : 岡山県備前市

(過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域)

面積 : 258.23km²

人口 : 38,581人(平成24年3月末現在)

図1 備前市位置図



(2) 計画期間

本計画は、平成21年4月1日から平成28年3月31日までの7年間を計画期間とし、平成21年度については、備前地域循環型社会形成推進地域計画で実施する。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は平成17年3月22日に合併(旧備前市、旧日生町、旧吉永町)したが、一般廃棄物の中間処理・最終処分を旧市町毎に異なる施設で行っている。ごみの分別区分も旧市町別で異なるものとなっている。当面は現行の処理体制によるごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めるものとする。これに向け本市においては、分別区分を統一することを基本的な方向とし、リサイクル推進に必要となるストックヤードの整備を行い、将来的に広域化施設が整備された際には中継施設として位置付けるものとする。

旧備前市地域においては旧日生町・旧吉永町と同様、古紙及びペットボトルの分別収集に取り組んでいるところであるが、ストックヤードが未整備であったことから、平成20年度に古紙類のストックヤードを整備した。ペットボトルのストックヤードについては拠点回収にとどめており、分別収集量・資源化量のさらなる向上を図るにはこれらのストックヤード施設の整備が不可欠な状況となっている。

ペットボトルについては、旧日生町において既に選別処理施設で圧縮梱包機による処理をおこなっており、処理能力に余力があることから、旧備前市収集分についてもこれを活用し、あわせて処理を行うことにより、収集・処理の効率化を図る。旧日生町施設では現在、圧縮梱包物を屋外貯留としているが、旧備前市分を合わせた貯留スペースの確保、および飛散防止等のため、焼却炉(現在休止中)跡地にペットボトルストックヤードを整備する。

また生活排水については、本市のうち公共下水道の事業認可を受けていない地域でかつ集落排水事業の未採択地域において、合併処理浄化槽の設置に対し補助金交付を行っているが、今後とも引き続きこの補助制度を維持し、適正な生活排水処理の向上を目指し合併処理浄化槽の設置促進に努める。

(4) 広域化の検討状況

平成10年3月に県が策定した「岡山県ごみ処理広域化計画」においては、備前市は、他市町とともに広域化ブロックを形成していた。

平成16年度から市町村合併が進展したが、合併後の市町村の区域と、広域化計画における広域化ブロックの枠組みにソゴが生じていることなどから、平成18年度に県が広域化計画の見直しを行った。見直しに当たっては、県は、現計画を基本としつつ、市町村の意向と広域化の趣旨を踏まえ、広域化の枠組みが決定されている。

備前ブロックでは、この広域化計画に示されている3市1町において施設整備についての協議を重ねてきたが、財政難や施設更新時期の違いなどの問題で広域処理が困難となった。

備前市としては、取組が遅れている紙類とペットボトルのリサイクルを進めることが急務となっていたため、これらの保管場所であるストックヤードの整備行っており、広域処理施設が整備された場合にも使用できる。

今後は、将来の広域化を踏まえつつ、当面の対応として本市における分別収集計画を見直して再生利用の促進を図り、本市の循環型社会の構築を推進すると共に、周辺市町村との連携も視野に入れながら、将来的なごみ処理の広域化のあり方を検討していくこととする。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成19年度の一般廃棄物の排出、処理状況は、図2のとおり。

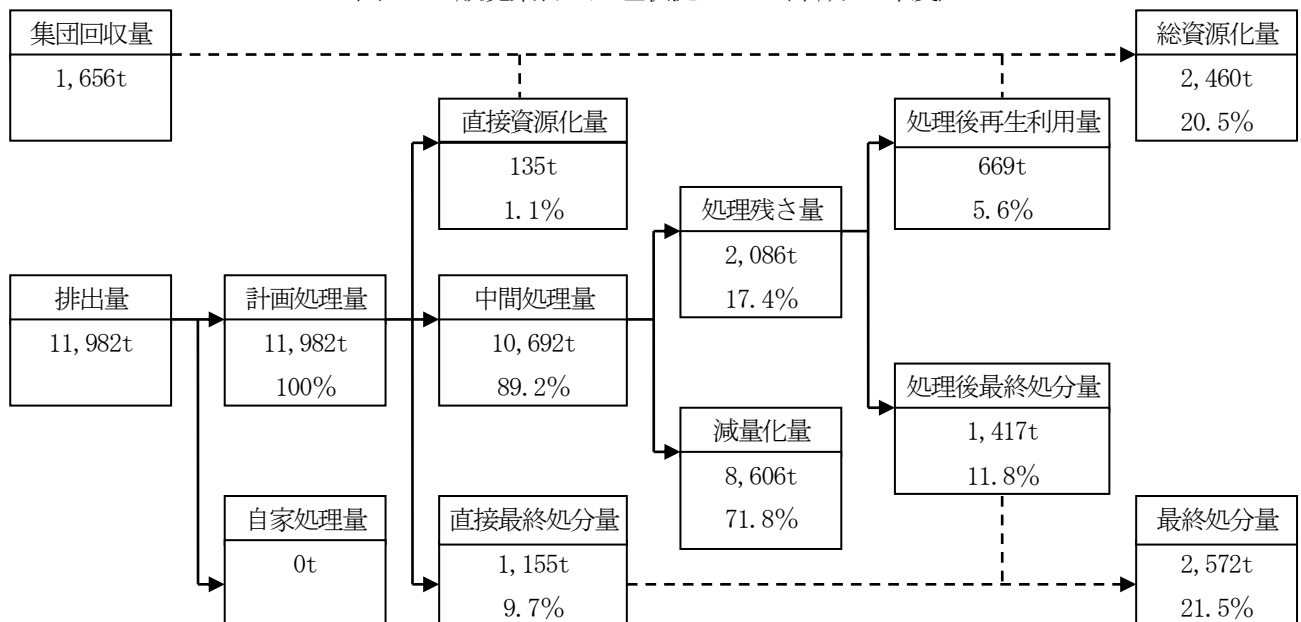
総排出量は、集団回収量も含め13,638トンであり、再生利用される「総資源化量」は2,460トン、リサイクル率(=(直接資源化量+処理後再生利用量+集団回収量)/(排出量+集団回収量))は約18.0%である。

中間処理による減量化量は8,606トンであり、集団回収を除いた排出量の概ね71.8%が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約21.5%にあたる2,572トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は9,867トンである。ごみ焼却施設では、温水の場内利用などによる熱回収を行っている。

また、最終処分場では、排出される焼却残渣及び不燃ごみ、粗大ごみ等の処理残渣の埋立処分を行っている。

図2 一般廃棄物の処理状況フロー(平成19年度)



※1 リサイクル率(=(直接資源化量+処理後再生利用量+集団回収量)/(排出量+集団回収量))

※2 小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

(2) 生活排水処理の現状

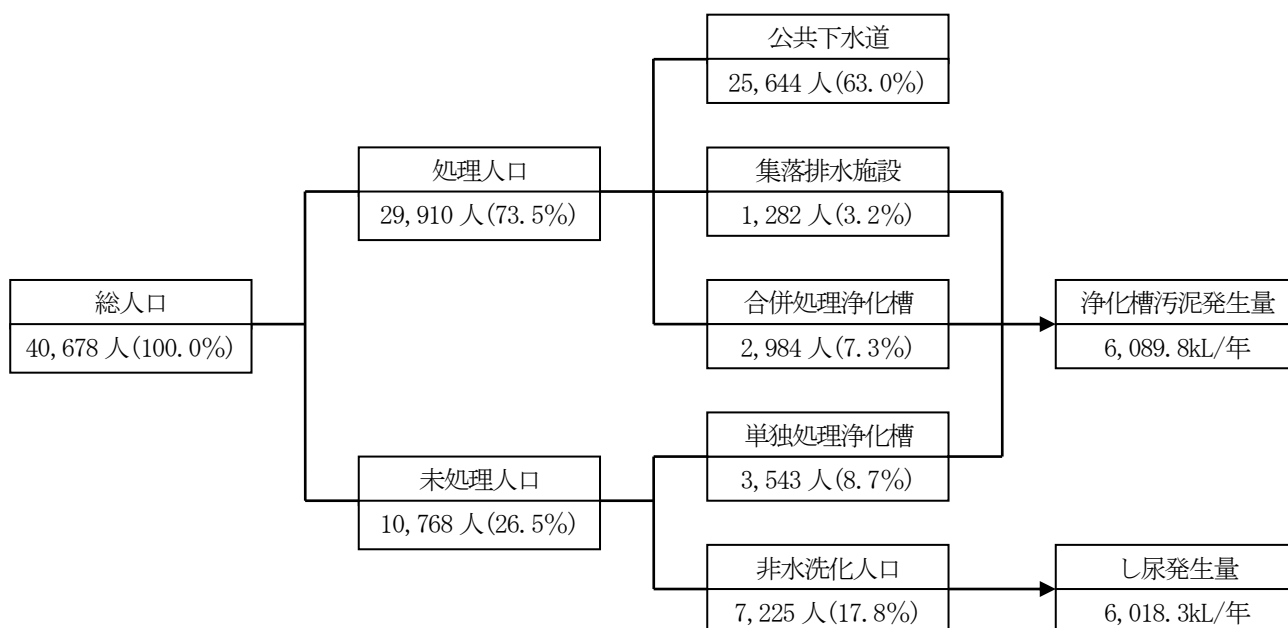
本市では、排出されるし尿及び浄化槽汚泥を備前市衛生センター並びに和気赤磐衛生センターで処理している。

平成19年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出は、図3のとおりである。生活排水処理対象人口(総人口)は、全体で40,678人であり、生活排水処理人口は29,910人、汚水衛生処理率は73.5%となっている。

し尿発生量は6,018.3kL/年、浄化槽汚泥発生量は6,089.8kL/年である。自家処理を除いた処理・処分量(=収集・運搬量)は12,108.1kL/年(発生量の100%)である。

処理・処分量は、下水道整備区域が広がっていることから減少傾向にある。

図3 生活排水の処理状況フロー(平成19年度)



※2 小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

(3) 一般廃棄物の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指して、減量化・再生利用に関する目標量を表1に示すとおり定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

計画終了の翌年度である平成28年度を目標年度とし、目標年度の一般廃棄物の排出、処理状況を図4に示す。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指標・単位		現状(※) (平成19年度)	目標(※) (平成28年度)
人口		40,707 人	36,204 人
排出量	事業系総排出量	2,149 t	2,033 t (-5.4%)
	家庭系総排出量	9,833 t	8,470 t (-13.9%)
	合計	11,982 t	10,503 t (-12.3%)
	1人当たり排出量	806 g/(人・日)	795 g/(人・日) (-1.4%)
再生利用量	直接資源化量	135 t (1.1%)	0 t (0.0%)
	総資源化量	2,460 t (20.5%)	2,966 t (28.2%)
	熱回収量(年間の発電電力量)	0 MWh	0 MWh (0.0%)
減量化量	中間処理による減量化量	8,606 t (71.8%)	7,813 t (74.4%)
最終処分量	埋立最終処分量	2,572 t (21.5%)	1,339 t (12.7%)

※ 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

《指標の定義》

排出量：事業系、家庭系ごみを問わず、排出されたごみの量(集団回収されたごみを除く) [単位：t]

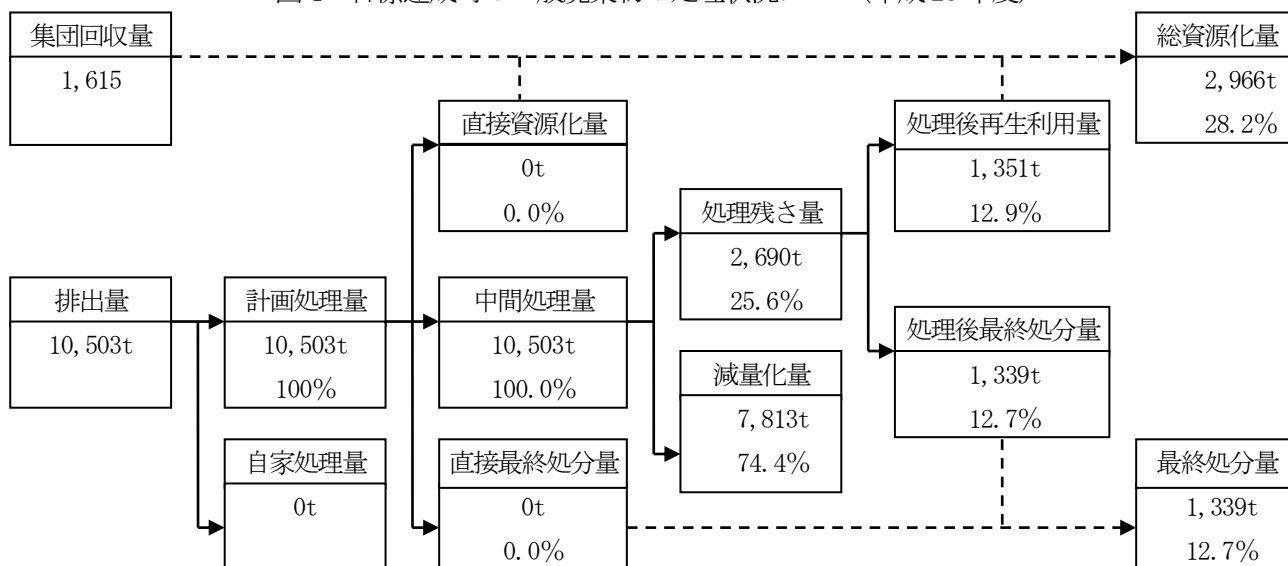
再生利用量：集団回収、直製資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位：t]

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位：MWh]

減量化量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位：t]

最終処分量：埋立処分された量 [単位：t]

図4 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー(平成28年度)



※1 $\text{リサイクル率} = (\text{直接資源化量} + \text{処理後再生利用量} + \text{集団回収量}) / (\text{排出量} + \text{集団回収量})$

※2 小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

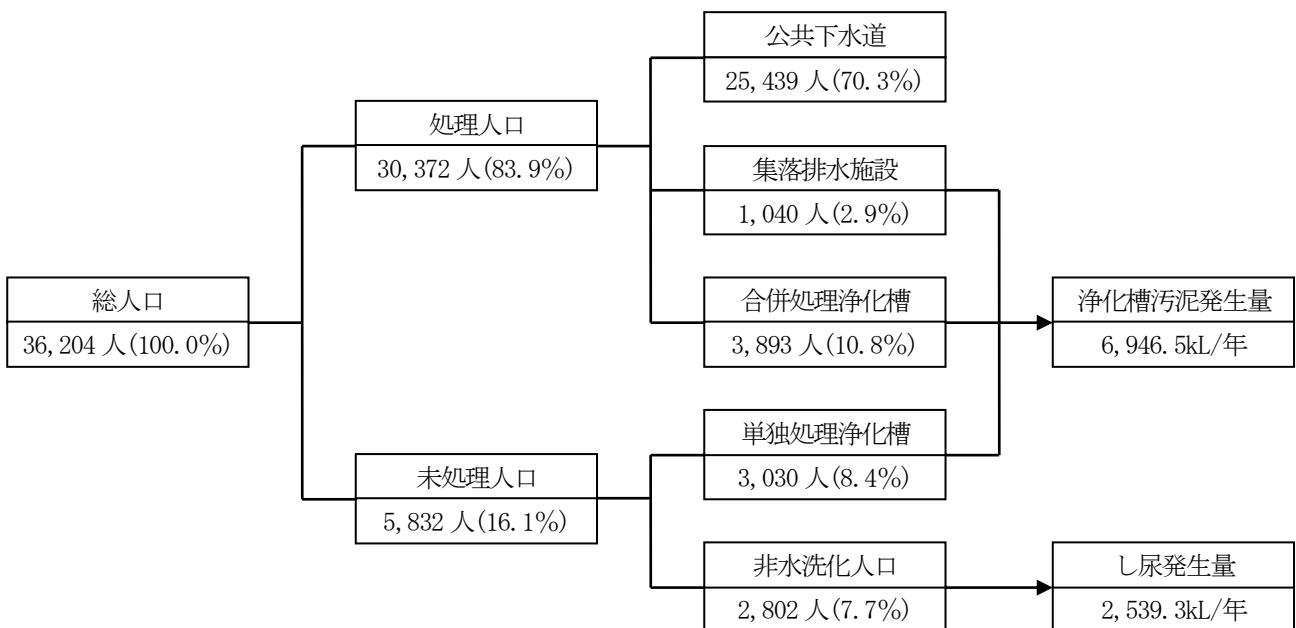
(4) 生活排水処理の目標

本計画の計画期間中においては、生活排水等の汚水衛生処理を含め循環型社会の実現を目指して、減量化、再生利用に関する目標量を表2及び図5に示すとおり定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 生活排水処理に関する現状と目標

		平成19年度実績	平成28年度目標
処理形態別人口	公共下水道	25,644人 (63.0%)	25,439人 (70.3%)
	集落排水施設	1,282人 (3.2%)	1,040人 (2.9%)
	合併処理浄化槽	2,984人 (7.3%)	3,893人 (10.8%)
	未処理人口	10,768人 (26.5%)	5,832人 (16.1%)
	合計	40,678人	36,204人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	6,018.3キロリットル	2,539.3キロリットル
	浄化槽汚泥量	6,089.8キロリットル	6,946.5キロリットル
	合計	12,108.1キロリットル	9,485.8キロリットル

図5 目標達成時の生活排水の処理状況フロー(平成28年度)



※2 小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア) ごみ収集の有料化

指定袋や指定シール、荷札などの方法により実施している有料化の効果について随時確認する。

イ) ごみの減量

レジ袋を削減するため、レジ袋の有料化への協力要請やマイバッグキャンペーンを実施する。

ウ) 集団回収への助成の推進

住民団体が行う集団回収に際して助成金を交付するなど、ごみの減量及び再使用に対する支援を行う。

エ) 資源ごみの分別収集・リサイクルの促進

実施済みの資源物の分別収集を継続するとともに、可燃ごみや不燃ごみとして排出していた容器包装廃棄物など資源物の分別収集を行う。

オ) 廃食油の資源化

家庭から排出される廃食油は捨ててしまえばごみだが、再利用できる資源という観点から回収し資源化する。

カ) 焼却灰のリサイクル

ごみ処理施設から排出され、埋立処分されている焼却灰についてはセメント原料化等の再利用を行う。

キ) 環境教育、普及啓発、助成

① 環境教育の充実

小中学校向けの環境教育用教材、学校・自治会への出前教育の実施等により、環境教育の充実を図る。

② 情報の提供

ホームページ・広報・イベント等により、ごみ減量関連事業、リサイクルショップ、フリーマーケット等に関する情報提供を行う。

③ 生ごみ処理容器の設置補助

生ごみ処理容器に関する設置補助を継続して実施する。

④ 厨芥類の減量化推進

講習会等により厨芥類の水切りをはじめとする減量化、堆肥化を推進する。

ク) 事業所ごみ対策

① 事業者によるリサイクル推進

事業者への ISO14001 取得推進等により、事業者自身によるリサイクルシステムの構築を図る。

② 販売店への働きかけ

販売店による簡易包装の推進、食品の裸売り、リターナブル・詰め替え商品の販売など、ごみ減量化が図れる方策の実施を要請する。また、食品トレイや牛乳パック等の店頭回収、買い物袋持参運動への協力を要請する。

③ 店頭回収等の協力要請

食品トレイや牛乳パック等の店頭回収、マイバッグ運動への協力を要請する。

ケ) 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。

- ・ 廃油ポット、三角コーナーネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及
- ・ 洗剤使用量の適正化

(2) 処理体制

ア) 家庭ごみの処理体制の現状と今後

現在は拠点回収のみとなっているペットボトルを分別収集とし、分別収集の一層の促進及び再資源化率の向上を図る。

表3 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後 (1) 旧備前市地域

(現状)

分別区分	処理方法	処理施設	処理実績
燃えるごみ	焼却	クリーンセンター備前	6,717t/年
紙類	リサイクル	クリーンセンター備前・古紙類ストックヤード	29t/年
ペットボトル	リサイクル	クリーンセンター備前・一次貯留	9t/年
金属類	リサイクル	不燃物前処理場	327t/年
びん類	リサイクル	不燃物前処理場	339t/年
埋立ごみ	埋立	一般廃棄物最終処分場	1,117t/年
粗大ごみ	破碎選別	不燃物前処理場	97t/年

(今後)

分別区分	処理方法	処理施設	処理見込
燃えるごみ	焼却	クリーンセンター備前	6,047t/年
紙類	リサイクル	クリーンセンター備前・古紙類ストックヤード	78t/年
ペットボトル	リサイクル	選別処理施設・ペットボトルストックヤード	22t/年
金属類	リサイクル	不燃物前処理場	321t/年
びん類	リサイクル	不燃物前処理場	282t/年
埋立ごみ	埋立	一般廃棄物最終処分場	148t/年
粗大ごみ	破碎選別	不燃物前処理場	572t/年



※処理実績は平成19年度

※ペットボトルは現状、拠点回収による収集のみ

表4 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

(2) 旧日生町地域

(現状)

分別区分	処理方法	処理施設	処理実績
燃えるごみ	焼却	和気北部衛生施設組合	1,661t/年
紙類	リサイクル	選別処理施設	162t/年
ペットボトル	リサイクル	選別処理施設	7t/年
トレイ	リサイクル	選別処理施設	2t/年
金属類	リサイクル	選別処理施設	83t/年
びん類	リサイクル	選別処理施設	85t/年
びん類 (その他ガラス、陶器類)	埋立	一般廃棄物最終処分場	37t/年
粗大ごみ	破碎	選別処理施設	177t/年

(今後)

分別区分	処理方法	処理施設	処理見込
燃えるごみ	焼却	クリーンセンター備前	1,495t/年
紙類	リサイクル	選別処理施設	162t/年
ペットボトル	リサイクル	選別処理施設・ペットボトルストックヤード	8t/年
トレイ	リサイクル	不燃物前前処理場	2t/年
金属類	リサイクル	選別処理施設	78t/年
びん類	リサイクル	選別処理施設	79t/年
埋立ごみ	埋立	一般廃棄物最終処分場	35t/年
粗大ごみ	破碎選別	選別処理施設	148t/年



※処理実績は平成19年度

※「和気北部衛生施設組合」：和気北部衛生施設組合クリーンセンターを指す。

表5 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

(3) 旧吉永町地域

(現状)

分別区分	処理方法	処理施設	処理実績
燃えるごみ	焼却	和気北部衛生施設組合	978t/年
紙類	リサイクル	— 業者委託	17t/年
ペットボトル	リサイクル	和気北部衛生施設組合	6t/年
トレイ	リサイクル	和気北部衛生施設組合	1t/年
金属類	リサイクル	和気北部衛生施設組合	19t/年
びん類	リサイクル	和気北部衛生施設組合	48t/年
びん類 (その他ガラス、陶器類)	埋立	和気北部衛生施設組合	26t/年
粗大ごみ	破碎	和気北部衛生施設組合	39t/年



(今後)

分別区分	処理方法	処理施設	処理見込
燃えるごみ	焼却	クリーンセンター備前	881t/年
紙類	リサイクル	— 業者委託	17t/年
ペットボトル	リサイクル	選別処理施設・ペットボトルステーション	6t/年
トレイ	リサイクル	選別処理施設	1t/年
金属類	リサイクル	不燃物前処理場	18t/年
びん類	リサイクル	不燃物前処理場	46t/年
埋立ごみ	埋立	一般廃棄物最終処分場	26t/年
粗大ごみ	破碎選別	選別処理施設	35t/年

※処理実績は平成19年度

※「和気北部衛生施設組合」：和気北部衛生施設組合クリーンセンターを指す。

※和気北部衛生施設組合構成市町村は、備前市（旧日生町、旧吉永町）、赤磐市（旧熊山町、旧吉井町）、和気町、佐伯町。

イ) 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については引き続き、下水道や農業集落排水処理施設が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を進めていく。

また、新たに設置する汚泥再生処理センターにおいて、し尿・浄化槽汚泥とあわせて集落排水汚泥を処理するとともに、資源化設備においてリン回収等の資源回収を行い、地域内での資源循環を進める。

(3) 処理施設の整備

ア) 廃棄物処理施設

上記の分別区分への変更に伴い、旧備前市地域、旧日生町地域から排出されるペットボトルのストックヤード施設を旧日生町地域に整備する。なお、旧焼却施設の解体工事を伴う。

また、備前市全地域から排出されるし尿等を処理する汚泥再生処理センターを旧備前市地域に整備する。

表6 整備する施設の表

事業番号	施設整備種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1 ※	ペットボトル ストックヤード	備前市ペットボトル ストックヤード 整備事業	ストックヤード 140 m ² 減容機設備 0.3[t/h]	備前市日生町 寺山 680-1	H21 年度
2	有機性廃棄物リサイクル推進施設	備前市汚泥再生処理 センター建設事業	約 34 kℓ/日	備前市穂浪 2459-1	H25 年度 ～H27 年度

※印の事業の平成 21 年度事業は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

整備理由

事業番号 1 旧備前市地域のペットボトルを分別収集とし、旧日生町収集分と合わせて圧縮梱包処理を行うこととし、圧縮梱包物の保管施設が必要となるため

事業番号 2 既設し尿処理施設は昭和 39 年 4 月に竣工し、稼働後 46 年が経過し老朽化している。施設の老朽化に対応するため、汚泥再生処理センターとして新たに整備する。

イ) 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については表 7 のとおり行う。

表 7 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数 (基) (平成 19 年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間
浄化槽設置整備事業 ※	1,116	329	856	H21 年度 ～H27 年度

※印の事業の平成 21 年度事業は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 8 のとおり計画支援事業を行う。

表 8 実施する計画支援事業

事業概要	事業名	事業内容	事業期間
32	汚泥再生処理センター整備（事業番号 2）に係る調査・設計業務	施設基本設計、生活環境影響調査、測量調査、地質調査	H23 年度
	汚泥再生処理センター整備（事業番号 2）に係る設計業務	工事発注支援業務（発注仕様書作成等業務）	H24 年度 ～H25 年度

(5) その他の施策

ア) 廃家電等のリサイクルの普及・啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法及び資源有効利用促進法に基づく適切な回収、再商品化がなされるよう、引き続き関連団体や小売店などと協力し、普及啓発を行う。

イ) 不法投棄対策

地域の町内会などと一体となった普及啓発により、分別区分の徹底を進めるとともに、パトロールの強化に努める。

ウ) 災害時の廃棄物処理に関する事項

地震や台風時の大規模な災害時に発生する廃棄物の適正な処理を図るため、関係市町村及び組合が連携し広域的な処理体制を構築する。

臨時集積場所（仮置場）等については、市があらかじめ指定する場所とし、各施設の処理能力の範囲内で持ち込み処理、処分する。

エ) 協働による循環型社会形成の推進

地域からの活力による循環型社会の形成を推進するため、地域の住民団体や NPO と協働したごみの発生抑制や再使用、環境学習などの活動を検討し実施する。地域間の連携を図るため、活動方針や内容については、構成市町及び組合で協議を行う。

オ) スラグ等の利用ルートの確保

スラグに関して平成 18 年 7 月に JIS 化され、使用基準が明確になったことから、本地域においては、公共事業等での有効活用を図る。

カ) 浄化槽の整備事業の推進

構成市町においては、生活排水の適正処理及び衛生処理率の向上を図るため、下水道区域外を対象に浄化槽の整備設置の推進を図る。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本計画については毎年度、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、速やかに計画の事後評価を行う。評価の結果を公表し、これを将来計画に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1

1 地域の概要

(1)地域名	岡山県 備前市	(2)地域内人口	38,581 人	(3)地域面積	258.23	km ²
(4)構成市町村等名	備前市	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 (過疎) その他			
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況						
①組合を構成する市町村:			②設立(予定)年月日: 年 月 日設立、認可予定			
③設立されていない場合、今後の見通し: -						

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状					目標	
	平成16年度 (実績)	平成17年度 (実績)	平成18年度 (実績)	平成19年度 (実績)	平成20年度 (実績)	平成28年度 (見込み)	
排 出 量	事業系 総排出量(トン)	2,058	2,474	2,126	2,149	—	2,033 (H19比 -5.4%)
	家庭系 総排出量(トン)	13,486	10,823	10,612	9,833	—	8,470 (H19比 -13.9%)
	合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	15,544	13,297	12,738	11,982	—	10,503 (H19比 -12.3%)
	1人1日当たり排出量[g/(人・日)]	1,003	868	844	806	—	795 (H19比 -1.4%)
再 生 利 用 量	直接資源化量(トン)	405	86	104	135 (1.1%)	—	(0.0%)
	総資源化量(トン)	2,228	2,593	2,464	2,460 (20.5%)	—	2,966 (28.2%)
熱 回 収 量	熱回収量(年間の発電電力量 MWh)	—	—	—	—	—	—
中間処理による減量化量	減量化量(中間処理前後の差 トン)	9,581	8,860	9,083	8,606 (71.8%)	—	7,813 (74.4%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量(トン)	4,019	3,442	2,886	2,572 (21.5%)	—	1,339 (12.7%)

3 現有施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
クリーンセンター備前	備前市	ストーカ式	有	34(t/日)	平成10年						
第一清掃工場(休止中)	備前市	ストーカ式	有	-	昭和44年	H18	老朽化のため解体、跡地利用施設建設	古紙類 ストックヤード	H20	126(m ²)	
日生清掃工場(休止中)	備前市	ストーカ式	有	-	昭和53年	H19	老朽化のため解体、跡地利用施設建設	ペットボトル ストックヤード	H21	140(m ²)	
和気北部衛生施設組合 クリーンセンター	和気北部衛生施設組合	ストーカ式	有	30(t/日)	平成6年						
備前市不燃物前処理場	備前市		有	6(t/日)	昭和63年						
日生清掃工場 選別処理施設	備前市		有	8(t/日)	昭和52年						
備前市一般廃棄物 最終処分場	備前市		有	86,000(m ³)	昭和58年						
日生一般廃棄物 最終処分場	備前市		有	15,554(m ³)	平成8年						
備前市ビンストックヤード	備前市		有	150(m ²)	平成9年						
日生鋼製・アルミ ストックヤード	備前市		有	15(m ²)	平成9年						
日生ビンストックヤード	備前市		有	85(m ²)	平成9年						
備前市衛生センター	備前市		有	43(kL/日)	昭和39年	H28.3	老朽化のため	水処理:下水道放流(前処理 +脱水希釈)方式 資源化:リソ回収等	H28.3	34(kℓ/日)	
和気赤磐衛生センター	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合		有	72(kL/日)	平成14年						

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年度	過去の状況・現状							目標	
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成28年度
総人口		42,814	42,295	41,909	41,284	40,678	40,140	39,568	(集計中)	36,204
公共下水道	汚水衛生処理人口	24,020	24,447	25,185	25,158	25,644	25,561	25,610	(集計中)	25,439
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	56.1%	57.8%	60.1%	60.9%	63.0%	63.7%	64.7%	(集計中)	70.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	777	685	1,340	1,317	1,282	1,250	1,231	(集計中)	1,040
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.8%	1.6%	3.2%	3.2%	3.2%	3.1%	3.1%	(集計中)	2.9%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,558	3,047	2,991	2,915	2,984	3,050	3,233	(集計中)	3,893
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.3%	7.2%	7.1%	7.1%	7.3%	7.6%	8.2%	(集計中)	10.8%
未処理人口	汚水衛生処理人口	14,459	14,116	12,393	11,894	10,768	10,279	9,494	(集計中)	5,832

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	備前市	1,116	3,015	平成元年4月	329	856	平成28年度	

※平成21年度事業の施設整備は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2

事業種別	事業番号	事業主体名称	事業主体構成市町村名	規模		事業期間 交付期間		総事業費（千円）							交付対象事業費（千円）							その他 (算出根拠等)				
				単位	開始	終了	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度						
○再生利用に関する事業								26,000	26,000								26,000	26,000								
備前市ペットボトル ストックヤード 整備事業	1	備前市	備前市	140	m ²	21	21	26,000	26,000								26,000	26,000								
○し尿処理に関する事業								1,053,200					75,760	200,610	776,830		816,080						47,631	115,584	652,865	
汚泥再生処理センター整備	2	備前市	備前市	34	kl/日	25	27	1,053,200					75,760	200,610	776,830		816,080						47,631	115,584	652,865	
○浄化槽に関する事業								137,186	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598		134,008	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144
浄化槽設置整備事業	3	備前市	備前市			21	27	137,186	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598	19,598		134,008	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144	19,144
○その他（施設整備に 関する計画支援業務）								24,885			16,905	3,171	4,809				24,885			16,905	3,171	4,809				
汚泥再生処理センター施設基本設計	32	備前市	備前市			23	23	4,200			4,200						4,200			4,200						
生活環境影響調査	32	備前市	備前市			23	23	7,770			7,770						7,770			7,770						
測量調査	32	備前市	備前市			23	23	935			935						935			935						
地質調査	32	備前市	備前市			23	23	4,000			4,000						4,000			4,000						
発注支援業務	32	備前市	備前市			24	25	7,980				3,171	4,809				7,980					3,171	4,809			
合計								1,241,271	45,598	19,598	36,503	22,769	100,167	220,208	796,428		1,000,973	45,144	19,144	36,049	22,315	71,584	134,728	672,009		

※平成21年度事業の施設整備は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

様式3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業主体	事業期間		交付金の必要 可否	事業計画							備考			
					開始	終了		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成				
								21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度				
発生抑制、再利用の推進に関する こと		ごみ収集の有料化	指定袋や指定シール、荷札などの方法により実施している有料化の効果について随時確認する。	備前市	H 21	H 27												
								事業実施 (継続実施)										
		ごみの減量	レジ袋を削減するため、レジ袋の有料化への協力要請やマイバッグキャンペーンを実施する。	備前市	H 21	H 27												
								検 討 (検討結果に基づき実施)										
		集団回収への助成の推進	住民団体が行う集団回収に際して助成金を交付するなど、ごみの減量及び再使用に対する支援を行う。	備前市	H 21	H 27												
								事業実施 (継続実施)										
		資源ごみの分別収集・リサイクルの促進	実施済みの資源物の分別収集を継続するとともに、可燃ごみや不燃ごみとして排出していた容器包装廃棄物など資源物の分別収集を行う。	備前市	H 21	H 27												
								検 討		検 討 結 果 に 基 づ き 実 施								
		廃食油の資源化	家庭から排出される廃食油は捨ててしまえばごみだが、再利用できる資源という観点から回収し資源化する。	備前市	H 21	H 27												
								事業実施 (継続実施)										
		焼却灰のリサイクル	ごみ処理施設から排出され、埋立処分されている焼却灰についてはセメント原料化等の再利用を行う。	備前市	H 21	H 27												
								検 討 (検討結果に基づき実施)										
		環境教育の充実	小中学校向けの環境教育用教材、学校・自治会への出前教育の実施等により、環境教育の充実を図る。	備前市	H 21	H 27												
								事業実施 (継続実施)										
		情報の提供	ホームページ・広報・イベント等により、ごみ減量関連事業、リサイクルショップ、フリーマーケット等に関する情報提供を行う。	備前市	H 21	H 27												
								事業実施 (継続実施)										

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業主体	事業期間		交付金の必要 の必要 可否	事業計画							備考	
					開始	終了		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		
		生ごみ処理容器の設置補助	生ごみ処理容器に関する設置補助を継続して実施する。	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
		厨芥類の減量化推進	講習会等により厨芥類の水切りをはじめとする減量化、堆肥化を推進する。	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
事業所ごみ対策に関すること		事業者によるリサイクル推進	事業者へのISO14001取得推進等により、事業者自身によるリサイクルシステムの構築を図る。	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
		販売店への働きかけ	販売店による簡易包装の推進、食品の裸売り、リターナブル・詰め替え商品の販売など、ごみ減量化が図れる方策の実施を要請する。 また、食品トレイや牛乳パック等の店頭回収、買い物袋持参運動への協力を要請する。	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
		店頭回収等の協力を要請	食品トレイや牛乳パック等の店頭回収、マイバッグ運動への協力を要請する。	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
生活排水対策			家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。 ・廃油ポット、三角コーナネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及 ・洗剤使用量の適正化	備前市	H 21	H 27		事業実施 (継続実施)								
処理施設の整備に関すること		ペットボトルストックヤード整備事業	ペットボトルを分別収集し、生地域と合わせて圧縮梱包処理を行うため、圧縮梱包物の保管施設が必要となるため	備前市	H 21	H 27	○	建設 工事	共用 開始							
	2	有機性廃棄物リサイクル推進施設	設置整備事業	備前市	H 25	H 27	○									建設 工事

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の概要	事業主体	事業期間		交付金の必要 要否	事業計画							備考		
					開始	終了		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度			
		浄化槽整備	浄化槽を設置するものに対して補助金を交付し浄化槽整備を進めることで生活排水処理対策を推進する。	備前市	H 21	H 27	○										
								浄化槽 整備									
施設整備に係る計画支援に関するもの	32	2の計画支援	汚泥再生処理センター施設基本設計、生活環境影響調査、測量調査、地質調査	備前市	H 23	H 23	○				基本 設計等						
			発注仕様書等作成		H 24	H 25	○						発注 仕様書等作成				

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体名	備前市
(2) 施設名称	ペットボトルストックヤード
(3) 工期	平成 21 年度
(4) 施設規模	ストックヤード 140 [m ²] 減容機設備 0.3[t/h]
(5) 処理方式	圧縮減容・梱包（既設機械設備使用）、保管
(6) 地域計画内の役割	計画の目的である本市の分別収集区分統一に向け、新たに拠点回収から分別収集とするペットボトルの減容梱包・保管施設
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8) 生成する原材料及びその利用計画	—
---------------------	---

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9) 固形燃料の利用計画	—
---------------	---

「ストックヤード」を整備する場合

(10) スtock対象物	ペットボトル
---------------	--------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11) 容器包装リサイクル推進施設の内訳	—
-----------------------	---

(12) 事業計画額	205, 150 千円
------------	-------------

※ 平成 21 年度事業は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体名	備前市
(2) 施設名称	備前市汚泥再生処理センター
(3) 工期	平成25年度 ～ 平成27年度
(4) 施設規模	処理能力 34kl/日
(5) 形式及び処理方式	下水道放流(前処理+脱水希釈)方式
(6) 地域計画内の役割	備前市から発生するし尿、浄化槽汚泥及び集落排水汚泥を適正に処理し、周辺地域の環境保全に寄与するとともに、リン回収などにより周辺緑農地等に還元する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	リン回収等
(9) 資源化物の利用計画	農地還元等

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	人口 人 面積 m ²
(11) 計画地域の性格	
(12) 事業計画額	1,053,200 千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 岡山県

(1) 事業主体	備前市
(2) 整備計画の方針	公共下水道、農業集落排水処理施設等により集合処理できる地域以外の地域を対象として、合併処理浄化槽による生活排水処理を推進する。
(3) 事業の実施目的及び内容	し尿くみ取り、自家処理、単独処理浄化槽等の家庭からの生活排水を適正に処理することを目的とし、合併処理浄化槽の整備に対する補助を行う。
(4) 設置整備事業の整備計画	有（平成21年度～27年度） 無（ 年度策定予定）
(5) 浄化槽整備状況 （実使用人口で記入）	平成20年度整備計画人口／全体整備計画人口（%） 3.0 % 平成19年度までの整備人口／全体整備人口（%） 65.2 %
(6) 具体的な整備計画	総事業費 137,186 千円（整備計画人口 856 人分） 選 定 額 134,008 千円 所 要 額 44,669 千円

○交付金対象となる浄化槽の整備規模及び選定額（内訳）

※ 個人設置型と市町村設置型とを明記し、双方の整備がある場合は、表を分けて記載のこと

個人設置型 単位：千円

人槽区分	交付対象基数 (856 人分)	基準額	対象経費 支出予定額	選定額
5 人槽	84 基 (221 人分)	27,888 千円	29,064 千円	27,888 千円
6～7 人槽	210 基 (541 人分)	86,940 千円	88,942 千円	86,940 千円
8～10 人槽	35 基 (94 人分)	19,180 千円	19,180 千円	19,180 千円
11～20 人槽	基 (人分)			
21～30 人槽	基 (人分)			
31～50 人槽	基 (人分)			
51 人槽以上	基 (人分)			
合 計	329 基 (856 人分)	134,008 千円	137,186 千円	134,008 千円

※平成21年度事業は備前地域循環型社会形成推進地域計画で行う。

計 画 支 援 概 要

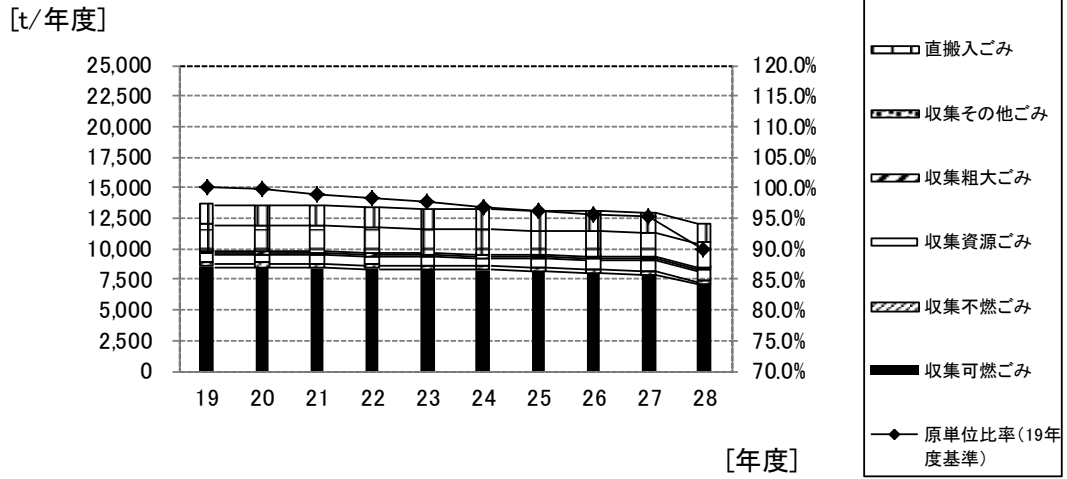
都道府県名 岡山県

(1) 事業主体名	備前市				
(2) 事業目的	汚泥再生処理センター 施設整備のため				
(3) 事業名称	汚泥再生処理センター施設基本設計	生活環境影響調査	測量調査	地質調査	工事発注仕様書等作成業務
(4) 事業期間	平成23年度～ 平成23年度	平成23年度～ 平成23年度	平成23年度～ 平成23年度	平成23年度～ 平成23年度	平成24年度～ 平成25年度
(5) 事業概要	汚泥再生処理センター整備のための施設基本設計を実施する。	汚泥再生処理センター整備に先立ち、処理施設建設予定地周辺への生活環境への影響を調査する。	汚泥再生処理センター整備のための用地測量を実施する。	汚泥再生処理センター整備のための地質調査を実施する。	汚泥再生処理センター建設工事に係る発注仕様書等を作成する。
(6) 事業計画額	4,200千円	7,770千円	935千円	4,000千円	7,980千円

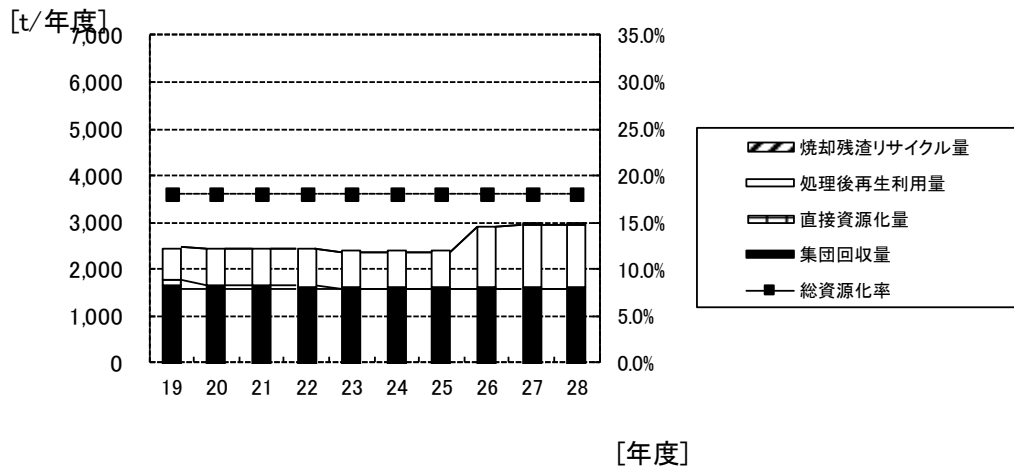
添付資料1 現状及び将来の種類別排出量

人口及びごみ排出量実績・推計

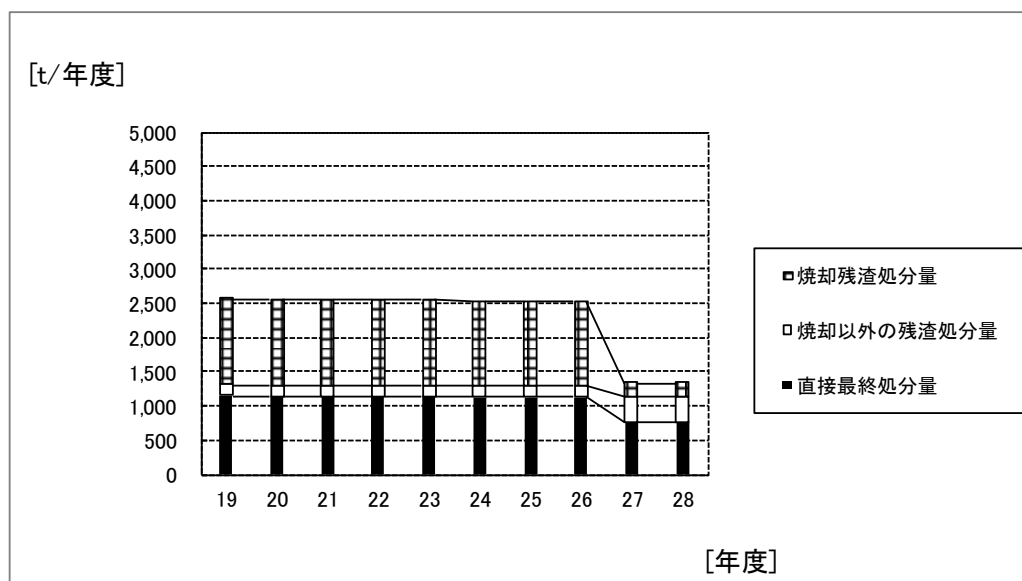
		実績←		→推計								
年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
行政区域人口 [人]		40,678	40,556	40,417	40,290	40,173	40,063	39,961	39,864	37,194	36,204	
収 集	可燃ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	8,552	8,526	8,458	8,394	8,332	8,271	8,212	8,028	7,928	7,160
		一日ごみ量 [t/日]	23.43	23.36	23.17	23.00	22.83	22.66	22.50	21.99	21.72	19.62
		原単位 [g/人/日]	576.0	576.0	573.3	570.8	568.2	565.6	563.0	551.7	584.0	541.8
	不燃ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	323	316	314	312	309	306	305	302	302	242
		一日ごみ量 [t/日]	0.88	0.87	0.86	0.85	0.85	0.84	0.84	0.83	0.83	0.66
		原単位 [g/人/日]	21.8	21.3	21.3	21.2	21.1	20.9	20.9	20.8	22.2	18.3
	資源ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	712	711	705	699	694	689	683	806	842	856
		一日ごみ量 [t/日]	1.95	1.95	1.93	1.92	1.90	1.89	1.87	2.21	2.31	2.35
		原単位 [g/人/日]	48.0	48.0	47.8	47.5	47.3	47.1	46.8	55.4	62.0	64.8
	粗大ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	208	206	204	203	201	199	198	196	196	178
		一日ごみ量 [t/日]	0.57	0.56	0.56	0.56	0.55	0.55	0.54	0.54	0.54	0.49
		原単位 [g/人/日]	14.0	13.9	13.8	13.8	13.7	13.6	13.6	13.5	14.4	13.5
	その他ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	38.0	34.0
		一日ごみ量 [t/日]	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09
		原単位 [g/人/日]	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.8	2.6
	合計 (収集ごみ)	年間ごみ量 [t/年度]	9,833	9,797	9,719	9,646	9,574	9,503	9,436	9,370	9,306	8,470
		一日ごみ量 [t/日]	26.94	26.74	26.52	26.32	26.13	25.93	25.75	25.57	25.39	23.11
		原単位 [g/人/日]	662.3	659.3	656.2	653.3	650.3	647.3	644.3	641.4	682.7	638.4
直搬ごみ	年間ごみ量 [t/年度]	2,149	2,150	2,132	2,117	2,099	2,084	2,066	2,051	2,033	2,033	
	一日ごみ量 [t/日]	5.89	5.89	5.84	5.80	5.75	5.71	5.66	5.62	5.57	5.57	
排出量	年間ごみ量 [t/年度]	11,982	11,947	11,851	11,763	11,673	11,587	11,502	11,421	11,339	10,503	
	一日ごみ量 [t/日]	32.83	32.63	32.36	32.12	31.88	31.64	31.41	31.19	30.96	28.68	
そ の 他	自家処理量	年間ごみ量 [t/年度]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		一日ごみ量 [t/日]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原単位 [g/人/日]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
集団回収量	年間ごみ量 [t/年度]	1,656	1,650	1,644	1,639	1,634	1,630	1,626	1,622	1,618	1,615	
	一日ごみ量 [t/日]	4.54	4.52	4.50	4.49	4.48	4.47	4.45	4.44	4.43	4.42	
	原単位 [g/人/日]	111.5	111.5	111.4	111.5	111.4	111.5	111.5	111.5	119.2	122.2	
総排出量 (自家処理を除く)	年間ごみ量 [t/年度]	13,638	13,597	13,495	13,402	13,307	13,217	13,128	13,043	12,957	12,118	
	一日ごみ量 [t/日]	37.36	37.15	36.87	36.61	36.35	36.11	35.86	35.63	35.39	33.11	
	原単位 [g/人/日]	918.5	918.5	914.8	911.3	907.5	903.9	900.1	896.4	954.4	917.0	



ごみ排出量および排出原単位実績・推計



ごみ資源化量・資源化率実績・推計



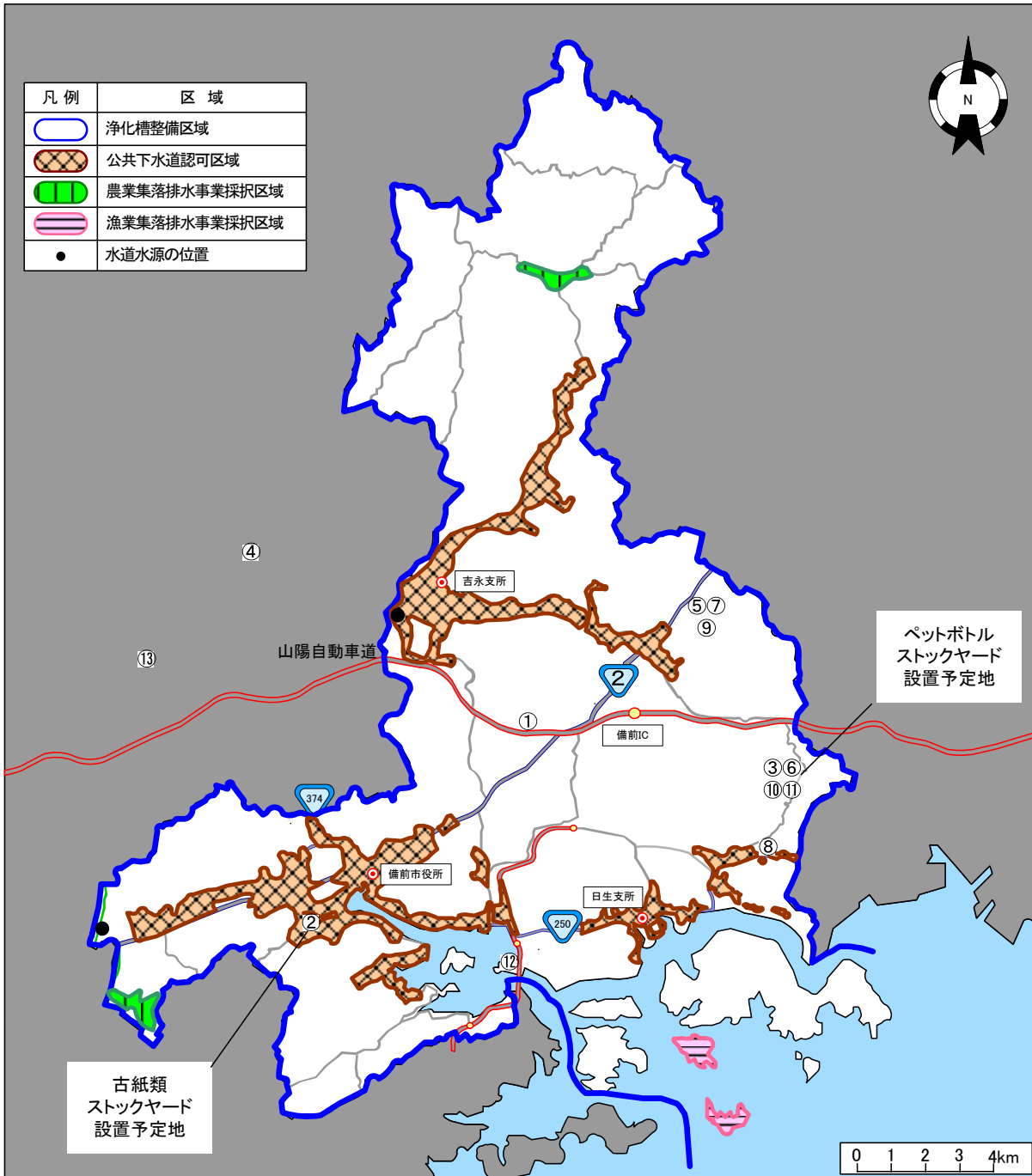
ごみ最終処分量実績・推計

添付資料2 現有施設の表および位置図

現有施設の表

	施設名	種類	対象廃棄物	処理能力	所在地	竣工年
①	クリーンセンター備前	焼却	可燃ごみ	34t/日	備前市八木山 859-4	H10
②	第一清掃工場 (休止中)	焼却	-	-	備前市浦伊部 232-2、234-1	S44
③	日生清掃工場 (休止中)	焼却	-	-	備前市日生町 寺山 680-1	S53
④	和気北部衛生施設組合 クリーンセンター	焼却 破碎選別 埋立	可燃ごみ 資源ごみ 不燃ごみ 粗大ごみ 直搬ごみ	30t/日	和気郡和気町 益原 1512-3	H6
⑤	備前市不燃物前処理場	破碎選別	資源ごみ、 粗大ごみ、 直搬ごみ	6t/日	備前市三石 2952-1	S63
⑥	日生清掃工場 選別処理施設		不燃ごみ、 粗大ごみ、 直搬ごみ	8t/日	備前市日生町 寺山 680-1	S53
⑦	備前市一般廃棄物最終 処分場	埋立	不燃ごみ 直搬ごみ 中間処理残渣 焼却残渣	86,000m ³	備前市三石 2952-1	S58
⑧	日生一般廃棄物最終 処分場	埋立	破碎ごみ 中間処理残渣 焼却残渣	15,554m ³	備前市日生町 寒河 853-2	H8
⑨	備前市 ビンストックヤード	保管	資源ごみ (ガラス)	150m ²	備前市三石 2952-1	H9
⑩	日生鋼製・アルミ ストックヤード	保管	資源ごみ (金属類)	15m ²	備前市日生町 寺山 680-1	H9
⑪	日生 ビンストックヤード	保管	資源ごみ (ガラス)	85m ²	備前市日生町 寺山 680-1	H9
⑫	備前市衛生センター	し尿等 処理	し尿 浄化槽汚泥	43kL/日	備前市穂浪 2459番地の1	S39
⑬	和気赤磐衛生センター	し尿等 処理	し尿 浄化槽汚泥	72kL/日	和気郡和気町 本2番地	H14

施設の現況・整備施設予定地の位置、および生活排水処理施設整備に関する区域図



- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ① クリーンセンター備前 | ⑦ 備前市一般廃棄物最終処分場 |
| ② 第一清掃工場 (休止中) | ⑧ 日生一般廃棄物最終処分場 |
| ③ 日生清掃工場 (休止中) | ⑨ 備前市びんストックヤード |
| ④ 和気北部衛生施設組合
クリーンセンター | ⑩ 日生鋼製・アルミストックヤード |
| ⑤ 備前市不燃物前処理場 | ⑪ 日生びんストックヤード |
| ⑥ 日生清掃工場選別処理施設 | ⑫ 備前市衛生センター |
| | ⑬ 和気赤磐衛生センター |